

平成30年度「事業評価・提案会」評価シート

事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業		款項目	09-01-03		評価責任者	清水 敬
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	小澤 初美
会計	一般会計	事業開始年度	平成22年	法定根拠・法令等	道路法、道路交通法		
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN)

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち				
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり				
	施策	2	家庭・地域・学校の連携				
対象者および対象物	※誰に対する事業か。また、何に対する事業か。 市内の児童・生徒						
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 スクールガードの見守り活動や巡回パトロール、また通学路の危険と思われる箇所の改善等を行うことで子どもたちが安心して教育を受けられる学校を確立する。						
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 学校、家庭及び地域住民が連携しながら、地域全体で学校の安全に取り組み、子どもたちの登下校時の事故等を予防する。						

2. 実施結果 (DO)

単位：円		平成28年度	平成29年度	平成30年度（見込）	平成31年度	
事業費	予算現額[A]	1,389,000円	654,000円	673,000円		
	決算額[B]	1,332,133円	591,839円	641,080円		
	執行率[B]/[A]	95.9%	90.5%	95.3%		
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	スクールガード報償金	312,000円	312,000円	152,100円	
		子ども110番の家看板印刷	683,100円	140,659円	185,000円	
		通学路安全対策用品	210,853円	139,180円	144,080円	
		スクールガード傷害保険料	126,180円			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	220,000円	220,000円	204,000円	
		地方債				
その他特定財源						
一般財源	1,112,133円	371,839円	437,080円			
財源合計[C](=[B])	1,332,133円	591,839円	641,080円			
人件費	一般職員	10人日 257,909円	10人日 259,151円	10人日 259,151円		
	対象外事業分	円	円	円		
	嘱託職員	0人日 円	0人日 円	0人日 円		
	対象外事業分	円	円	円		
	臨時職員	円	円	円		
	別担当職員	円	円	円		
人件費合計[D]	257,909円	259,151円	259,151円			
総事業費[B]+[D]	1,590,042円	850,990円	900,231円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H27	H28	H29	H30	H31
登下校中の事故の件数	市内の児童・生徒が登下校中に被害を受けた事故の件数	件	目標値		2.0	1.0	0.0	
			実績値	3.0	6.0	1.0	3.0	

3. 事業評価 (CHECK)

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	4	
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	4	
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5	5	
達成度（目標が実現できているか）	1	5	1	
平均得点	3.8	4.6	3.8	

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえた、事業の目的に対する結果及び成果（具体的な数値も含め記載すること）

平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>青色防犯パトロールの実施回数40回、スクールガードリーダー巡回実施80回。</li> <li>不審者、不審車両発生件数14件</li> <li>通学路安全推進協議会での合同点検により各小学校で報告のあった安全対策箇所50のうち21箇所を改善した。</li> <li>「子ども110番の家」看板配付枚数250枚</li> </ul>
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>青色防犯パトロールの実施回数40回、スクールガードリーダー巡回実施80回。</li> <li>不審者、不審車両発生件数10件</li> <li>通学路安全推進協議会での合同点検により各小学校で報告のあった安全対策箇所23のうち9箇所を改善した。</li> </ul>
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>青色防犯パトロールの実施予定回数40回、スクールガードリーダー巡回実施予定80回。</li> <li>不審者、不審車両発生件数9件（H30.10現在）</li> <li>通学路安全推進協議会での合同点検により各小学校で報告のあった安全対策箇所24のうち8箇所を改善した。</li> </ul>

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか1つ○を付けてください	平成30年度予算に向けて			平成31年度予算に向けて			平成32年度予算に向けて			平成33年度予算に向けて		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大								○			
	維持	○			○							
	縮小											
具体的な事業費名							子ども110番の家看板の劣化したものの交換、新たに登録した家に配付ため増額					

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

平成30年度予算に向けて	大阪北部地震での「ブロック塀倒壊」により、社会全体が子どもの安全に対する意識が高まっている状況の中で、2名のスクールガードリーダーを中心に、各学校に登録されているスクールガードと連携し、登下校の安全確保に努める。
平成31年度予算に向けて	子どもが安心して教育を受けられるよう、家庭、地域、学校が連携して地域ぐるみで子どもたちを見守る環境整備に努める。
平成32年度予算に向けて	次世代を担う子ども達が、安全で安心な環境の中で教育を受けられるよう整備する。「子ども110番の家」の登録件数やスクールガードの人数を増やすとともに、地域ぐるみで子どもたちを見守る意識改革に取り組む。

■事業評価・提案会を踏まえた事業の改善策及び今後の方向性

・都留市の児童・生徒が安心して学校生活を送れるように通学路の危険箇所の改善等を実施する。  
 ・また、学校、家庭及び地域住民が連携しながら、地域全体で学校の安全に取り組み、子どもたちの登下校時の事故及び犯罪の件数、通学路の危険箇所を0にする。

【具体的内容】

・児童・生徒への交通安全教育を継続的に実施し、繰り返し指導することで交通安全に関する意識を高める。  
 ・見守り活動についてはスクールガードの方々と学校、市教委間の情報共有の手段を明確にし、日頃から注意喚起を促すことはもちろん、いざというときに適切な行動がとれる習慣を身につけておく。  
 ・地域住民の目の届きづらい場所や防犯的な観点から特段の注意が必要な箇所等については、防犯カメラの設置を検討する。  
 ・また、スクールガードの担い手不足の問題についても検討していく。